

第10回U15全国KWB野球秋季大会（女子の部）

【大会要項】

（女子の部のみ抜粋、平成27年10月19日一部更新）

1 目 的

「明日の日本を担う青少年を育てる」という観点から、野球競技を通じて青少年の健全な育成を目指すとともに、中学生の身体の成長段階を考慮し、高等学校の硬式野球へスムーズに移行できるよう計らう。

2 主 催

公益財団法人日本野球連盟 日本KWB野球連盟

3 主 管

U15全国KWB野球秋季大会女子の部実行委員会

4 後 援

文部科学省 千葉県・千葉県教育委員会 成田市・成田市教育委員会 印西市・印西市教育委員会
富里市・富里市教育委員会 千葉ロッテマリーンズ 千葉県野球協会 千葉県野球連盟 千葉県中
学生野球連盟 **NHK** 読売新聞社 全国新聞社事業協議会 共同通信社 公益財団法人全日本
軟式野球連盟 日本女子野球協会

5 特別協賛

シダックス株式会社

6 協 賛

ナガセケンコー株式会社 コカ・コーラボトラーズ オリックス自動車株式会社
株式会社共同写真企画

7 日 程

平成27年11月21日(土) ～ 11月23日(月・祝)

監督会議 出場チームに別途連絡する

開会式 11月21日(土) 8:30 多摩一本杉球場

8 会 場

【監督会議】(大会本部)

スマイルホテル多摩永山

〒206-0024 東京都多摩市諏訪2-5-1 TEL 042-372-7003

【競技】

多摩一本杉球場、多摩市諏訪北公園野球場、調布西町野球場、調布基地跡地球場、他

9 出場資格

日本国内の15歳以下の女子中学生で構成されたチーム

10 出場チーム数(予定)

16チーム

11 チーム構成(ベンチ入りできる者)

団長：1名 監督：1名 コーチ：2名以内 スコアラー：1名 [注] 役職の兼任を認める

選手：参加登録選手のうち1試合ごとに20名以内を出場選手(ベンチ入り選手)として届け出る。

[注] 23名を参加登録した場合、試合当日に3名を登録抹消し、試合前のメンバー交換時に大会本部に届け出る。当日に複数の試合を消化する場合は、試合前に都度、届け出る。なお、登録抹消した選手をベンチ入りさせたい場合は、メンバー交換用紙にそのすべての選手氏名と背番号を記載し、その旨を大会本部に報告すること。これは女子大会にのみ適用される特例とする。

12 競技規則

- (1) 2015年公認野球規則および大会特別規定による。
- (2) 大会特別規定は別に定める(熟読の上、遵守すること)。
- (3) 使用球は連盟公認球(KWBボール)とする。

13 競技方法

トーナメント方式(試合時間100分・7回戦)とする。詳細は大会特別規定に定める。

14 大会参加費

1チームあたり30,000円、参加登録選手1人あたり2,000円を、監督会議前のチーム受付時に大会本部に納入する。

15 参加申込

参加チームは所定の用紙を日本KWB野球連盟ホームページよりダウンロードし、必要書類を作成の上、**10月30日(金)までに**下記のメールアドレス宛に送信する。

girl@k-ball.jp

※提出した出場選手名簿は、本大会の事務手続きのみで使用する。

※大会期間中の負傷・疾病については応急処置を施し、大会本部が加入するレクリエーション保険で対応する。それ以外の責任は負わないので参加者は各自保険に加入し、保険証を持参する。

U15全国KWB野球秋季大会女子の部実行委員会

事務局 井上 俊夫

MAIL girl@k-ball.jp

携帯 080-5048-4590

日本KWB野球連盟HP <http://www.k-ball.jp/>

☆問い合わせについては、なるべくメールにてお願いします。

16 宿泊・弁当の申し込み

日本旅行東京多摩支店(担当 内田)

電話 042-527-9462

FAX 042-522-2553

携帯 080-3434-8353

17 組合せ抽選

実行委員会による責任代理抽選を行い、**11月2日(月)**に連盟ホームページ上に発表する。

以上

【表 彰】

1 優勝チーム

賞状・千葉県知事杯・優勝盾・優勝記念メダルを授与する。

- ① 千葉県知事杯 持ち回り/翌年に代杯授与
- ② 優勝盾（日本KWB野球連盟）
- ③ 賞状（千葉県知事、NHK、読売新聞社、日本野球連盟、日本KWB野球連盟）
- ④ メダル（優勝記念の金メダル 選手、監督、コーチ、スコアラーの24名以内）

2 準優勝チーム

賞状・準優勝盾・準優勝記念メダルを授与する。

- ① 準優勝盾（日本KWB野球連盟）
- ② 賞状（NHK、読売新聞社、日本野球連盟、日本KWB野球連盟）
- ③ メダル（準優勝記念の銀メダル 選手、監督、コーチ、スコアラーの24名以内）

3 3位チーム（2チーム）

日本KWB野球連盟から賞状を授与する。

4 山本英一郎賞(最優秀選手賞)

大会で最も活躍した選手1名に授与する。

【山本英一郎賞 歴代受賞者】（名前右のカッコ内は大会参加当時の登録ポジションと、その後の球歴）

第1回(2006年)	麻下 翔太郎	(内野手・北海道K-B a l l クラブー札幌山の手高)
第2回(2007年)	佐藤 亮	(内野手・宮崎K-C L U Bー宮崎工業高(甲))
第3回(2008年)	三好 匠	(投手・福岡選抜ー九州国際大付高(甲)ー楽天イーグルス)
第4回(2009年)	大越 和樹	(捕手・千葉マリナーズー千葉英和高校ー中央学院大)
第5回(2010年)	永井 恭平	(投手・オール茨城ー水城高(甲)ー国士舘大)
第6回(2011年)	浦岡 真也	(捕手・MAJ O R H Y O G Oー東洋大姫路高ー東洋大)
第7回(2012年)	江口 奨理	(投手・埼玉スーパースターズー浦和学院高(甲))
第8回(2013年)	陣 翔大	(投手・KB釧路選抜ー旭川実業高)
第9回(2014年)	伊東 克隼	(外野手・千葉ファイターズー千葉商科大附属高)

女子の部

第6回(2011年)	船越 千紘	(捕手・千葉マリナーズガールズー花咲徳栄高)
第7回(2012年)	斉藤友梨乃	(投手・千葉マリナーズー花咲徳栄高)
第8回(2013年)	松原 由芽	(投手・東京選抜ー埼玉栄高)
第9回(2014年)	岩淵 風香	(投手・千葉マリナーズー村田女子高)

【山本英一郎賞とは】



故 山本英一郎氏

山本英一郎…全日本アマチュア野球連盟会長、日本野球連盟会長などアマ球界の要職を歴任。野球の五輪正式採用など国際化に尽力し、1997年、野球殿堂入り。また、KWBボールを志太 勤・日本KWB野球連盟会長とともに開発し、その普及や発展に多大な貢献をしました。2006年5月没。享年87歳。
山本英一郎賞は、氏の功績を讃え、第6回(2006年)大会より最高殊勲選手に贈呈される賞として制定されました。

写真提供：共同通信社